

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-48	中学校	道徳	道徳	3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	教科書名		
233 日科	道徳233-92	道徳 中学校3 生き方を創造する		

I 編集の基本方針

教科書を通してよりよい未来へ向かおうとする子供たちを支え、夢や希望をもって自身の行く先や、他者とともによりよくあり続ける姿を思い描くことのできる子供たちの育ちを願い、編集しました。

予測困難な時代と社会に、

他者とともに生きていくことの意味や「あり方」を自ら考え、探求する

◎人としての基盤となる、豊かな情操と道徳心を培うために (第1号)

さまざまな見方や考え方を包含する、夢や希望、よりよい生き方を模索することができる題材を通して、生徒各自の課題意識や、多面的・多角的な思索に資する教材を作成しました。

また、教科書編集に際しては、「よりよく生きようとする」ということについての見方・考え方を深める学習のための教材を選定し、「考え、議論し、探求する」道徳の授業に資する教科書を目指しました。

〈3年〉

「わたし」からつながる「わたしたち」 ～三つの視点から探究する～

①どんな自分になりたいか (第1、2号)

②他の人たちとの「ありたい姿」 (第2、3号)

③社会・世界の「ありたい姿」 (第2、3、5号)

④命・環境への思い (第4号)

④命・環境への思い

(第4号)

③社会・世界の
「ありたい姿」

(第2、3、5号)

②他の人たちと
の「ありたい姿」

(第2、3号)

①どんな自分
になりたいか

(第1、2号)

〈1年〉

①自分の思い (第1、2号)

②他の人たち (第2、3号)

③生活 (第2、3、5号)

④命・環境 (第4号)

〈2年〉

①自分ができること

②他の人たちとのかかわり

③よりよい社会生活

④命・環境とのかかわり

④命・環境への思い (第4号)

—それぞれの思いを深めよう—

- 自分や他者の命のあり方について考えるとともに、人と自然の関係や人の心のあり方についても深く考えられる教材を用意しました。
- 教材を通して感じたこと、考えたことをもとに「今ここにいること」についての思いを深め、これからの生き方やあり方につなげていきます。



3年 p.156 ちなしの花と、南十字星が指した道
～花田ミキ～



3年 p.150 不思議な光景



3年 p.141 自然と崇高なもののかかわり

生徒一人一人が、
自ら多面的・多角的に深く考え、「よりよい自分」を探究するために
Wellbeing カードの活用 (巻末付録)

自分自身の「よいあり方」は生徒それぞれにあります。

教材に接した時、あるいは考えたいテーマに出会った時、このカードを活用することで、生徒それぞれのその時点の「よりよくあるため」の視点を設定することができます。そして、そのカードのキーワードからそれぞれの考えや思いを伝え合うことで、同じ物事についての多面的・多角的な見方や考え方を互いに示し合うことができます。自分の「よりよい」と他者の「よりよい」。この相対的、相互的な関係に気づき、考えを深め、探究しようとする意欲と態度が、明日の社会形成につながります。

水たまり

水通の補修なのか、二日前から小学校と中学校の通学路の一部で工事をしていて、その視界が、昨日の大雨で、長さや深さはほとんど見えないけれど、ほとんど通れなくなりました。

水通の方はとびつければ通れなくなりましたが、通学するみんなが困っているのを見、僕は何とかならないものかと周りを見回した。すると、道のわきにある家の板塀が壊れかけていて、そのうちの一枚はほとんど外れてしまっていた。ちょっと大きくて、一人で動かすのは大変そうだけど、それを道に敷いてしまえばみんなが助かる。ちょっと向こう側には友達の家もあるし……さて、あなただったらどう考えますか。

ウォーミングアップ

○三年生の「道徳」に向かおう！

二年生で考えたことを、視野を広げて見つけてみましょう。いろいろな立場がある中で、どんな見方をしているかが、みんなの「よりよい」につながっていくのでしょ。みんなと一緒に生活していく中で大事に考えたことは何か、視野を広げながら考えていきましょう。

3年 p.6 「ウェルビーイングカード」
を使ってみよう

熱中	挑戦	達成
成長	自分で決める	希望
自分らしさ	心の平穏	日常

友情	価値観の理解	愛
あこがれ・尊敬	応援・推し	認め合う
信頼	感謝	祝福

思いやり	協調	多様性
決まりを守る	社会貢献	生命・自然
緑	平和	



II 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
主として 自分自身 に関わる こと	◎自主、自律、自由と責任 →自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	●Flower Bus Stop (p8) ●領民を幸福にすることこそ (p12)
	○希望と勇気、克己と強い意志 →より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	●栄冠は君に輝く (p28) ●自分のこの目で確かめたい (p34)
主として 人との関 わりに関 すること	○思いやり、感謝 →思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	●百円のご恩 (p50) ●五つの誓い (p54)
	○友情、信頼 →友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	●嵐の後に (p61) ●リョウとマキ ~ Stand by me ~ (p66)
	○相互理解、寛容 →自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	●外見で決めないで (p71) ●彼と私のありがとう (p75)
主として 集団や社 会との関 わりに関 すること	◎遵法精神、公德心 →法やまじりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	●放っておけばいい ~ 淳の住む町 ~ (p80) ●SNSでの誹謗中傷 (p84)
	○公平、公正、社会正義 →正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	●豊かなれ阿賀の流れよ (p88) ●「わたしたち」としてウェルビーイングをつくりあう (p92)
	◎社会参画、公共の精神 →社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	●震災を乗り越えて (p95)
	◎勤労 →勤労の尊さ意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	●社会における自らの役割や将来の生き方について考えるとともに、職業と生活との関連を見つめ、勤労の尊さを考えながら社会に参画し、寄与しようとする態度を養います。(第2号、第3号)
	◎郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 →郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	●地域の人々との人間関係を見つめ、地域の実態を把握したり郷土の文化や先人の業績に対する認識を深めたりして、進んで郷土の発展に努めようとする態度を養います。(第5号)
	◎我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 →優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。	●我が国固有の伝統や文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国を愛するとともに、それを継承し、新たな文化を創造したり発展させたりしようとする意欲と態度を養います。(第5号)
	◎国際理解、国際貢献 →世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	●他国の文化や伝統を知り、それを尊重するとともに、国際社会における共生と平和と発展に、日本人としてどのように寄与することができるかを考えようとする態度を養います。(第5号)
主として 生命や自 然、崇高 なものとの 関わり に関する こと	◎生命の尊さ →生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	●命をつなぐ (p142)
	◎よりよく生きる喜び →人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	●人間の心が併せもつ弱さや醜さ、強さや気高さについて知り、それに正対しつつ、自分自身の心を奮い立たせることによって、目指す生き方や誇り高い生き方に近づこうとする豊かな情操と態度を養います。(第1号)
		●くちなしの花と、南十字星が指した道~ 花田ミキ~ (p156)

Ⅲ 上記以外に、特に意を用いた工夫

教育基本法第5条第2項及び学校教育法第21条に則り、道徳科で扱う内容項目等の効果的な学習を保証し、生徒の具体的な学習への取り組みを促すため、以下の工夫をしました。

- 各視点に関わって考えを広げることができる四コマ漫画の扉を配置
- 課題を焦点化し、課題についての話し合いをしやすくする漫画教材の導入



3年 p.71 外見で決めないで

- 「いじめ防止」の課題に取り組む



3年 p.49 人とかかわり



3年 p.132 問題を解決するために必要なこと

- 道徳授業の基盤となる「ガイダンス」ページ



3年 p.4 クラスのみんなと「道徳授業」を創り出そう

- UD フォントなど、ユニバーサルデザインに配慮した紙面

教科書本文についてはUDフォントを用い、誰もが見やすくわかりやすい教科書にしました。



- 国内各地の自然・文化・人を紹介し、郷土学習に資する折込資料

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-48	中学校	道徳	道徳	3年
※発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
233 日科	道徳233-92	道徳 中学校3 生き方を創造する		

I 編修上特に意を用いた特色

生徒同士の対話を通して、他者とともに生きる「よりよいあり方」を探究する

— Wellbeing に向かう「道徳」のために —

読解中心の授業から思考中心の授業へと転換を図り、

生徒主体の対話型の授業を意識するとともに、

以下の四つの視点から、「わたしたち」のよりよいあり方を考え、探求することを目指しました。

〈3年〉

- ①どんな自分になりたいか
- ②他の人たちとの「ありたい姿」
- ③社会・世界の「ありたい姿」
- ④命・環境への思い



自分自身を取り巻く世界の中で、自分もその世界の当事者であり、他者に対してプラスの影響を持つ存在であることに気づき、「よりよいあり方」を探究する。

◎何ができるようになるか

自分自身から同心円的に広がる世界の中で、その時々において、自分自身もプラスの影響をもつ存在であること、および、さまざまなレベルの集団における「当事者」であることに気づく



p.156 くちなしの花と、南十字星が指した道〜花田ミキ〜



p.150 不思議な光景



p.58 茶道の心に学ぶ

★ 学びを広げ、深めるために

巻末折込

 <p>高木美帆 高木美帆は、2010年、東京大学で博士号を取得。現在は、東京大学で准教授として活躍中。著書『高木美帆の「高木美帆」』がある。</p>	 <p>石井雄一 石井雄一は、2010年、東京大学で博士号を取得。現在は、東京大学で准教授として活躍中。著書『石井雄一の「石井雄一」』がある。</p>	 <p>三宅正生 三宅正生は、2010年、東京大学で博士号を取得。現在は、東京大学で准教授として活躍中。著書『三宅正生の「三宅正生」』がある。</p>	 <p>松本城 歴史 松本城は、1603年に徳川家康によって築かれた。現在は、松本市立松本城博物館として活用されている。</p>
 <p>会堂 会堂は、1912年に建てられた。現在は、松本市立会堂として活用されている。</p>	 <p>石井美子 石井美子は、2010年、東京大学で博士号を取得。現在は、東京大学で准教授として活躍中。著書『石井美子の「石井美子」』がある。</p>	 <p>福井隆一 福井隆一は、2010年、東京大学で博士号を取得。現在は、東京大学で准教授として活躍中。著書『福井隆一の「福井隆一」』がある。</p>	 <p>天徳院 天徳院は、1603年に建てられた。現在は、松本市立天徳院として活用されている。</p>
 <p>鶴岡山 鶴岡山は、1603年に建てられた。現在は、松本市立鶴岡山として活用されている。</p>	 <p>牧野真太郎 牧野真太郎は、2010年、東京大学で博士号を取得。現在は、東京大学で准教授として活躍中。著書『牧野真太郎の「牧野真太郎」』がある。</p>	 <p>吉川結レナ 吉川結レナは、2010年、東京大学で博士号を取得。現在は、東京大学で准教授として活躍中。著書『吉川結レナの「吉川結レナ」』がある。</p>	 <p>白旗平 戦国 白旗平は、1603年に建てられた。現在は、松本市立白旗平として活用されている。</p>



教科書の観点別特色

教育基本法の遵守	●学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の要となる特別の教科としての位置付けから、教育基本法第2条第1号から第5号までの全てを網羅し、その理念を全うすることを大前提として編集されています。
学習指導要領の遵守	●中学校学習指導要領（特別の教科 道徳）に示された目標に則り、全ての内容項目の指導に最適な題材を用意しています。 ●中学校学習指導要領（総則）に示された、「指導内容の重点化への配慮」を受けて、重点化を図る内容項目については複数教材を配置しています。
内容・系統	●本教科書には、生徒の道徳的価値への自覚を促す多彩な読みもの教材が用意されています。また、改正学習指導要領総則にある重点項目については複数教材を設けています。 ●発問には「考えよう」「深めよう」とし、学習活動が端的に分かる工夫をしています。 ●本教材以外にも、道徳的価値に迫るための折込ページを設け、我が国、郷土の伝統文化を中心に採り上げています。
配列・分量	●読み取りの偏重から脱却し、「考え、議論し、探究する道徳」授業への転換を図りやすいように工夫しています。 ●ガイダンス教材を含む35教材を設け、年間35時間分の道徳授業を保証しています。 ●各学校の年間指導計画に拠ったカリキュラム編成がしやすいように、視点別内容項目順に教材配列をしています。
「資質・能力」育成の方向性	●「個別の知識・技能」については、各内容項目ごとに設置した道徳的価値に迫るための活動場面において、生徒の個々の経験や現状を確認できるように配慮しています。 ●「思考力・判断力・表現力等」については、各発問に伴う言語活動として設定し、「道徳的課題に注目する発問」「課題についての見方を広げたり考えを深めたりする発問」、「大事なことを自分自身のこととして見つめる発問」等のそれぞれの場面で発揮できるようにしています。 ●「学びに向かう力、人間性」については、各教材の発問「深めよう」において、自らのこれからの在り方を考える場面を設定しています。
学習方法・授業展開への配慮	●教科書の冒頭に、「ガイダンス」教材を配置し、道徳学習の進め方、振り返り、小教材による演習を設定しています。 ●各教材の発問には、「考えよう」「深めよう」を置き、学習活動を明確に提示しています。
問題解決的、体験的な活動の取り上げ方	●問題解決的な学習、体験的な活動については、教材の特性に合わせて発問や展開を工夫しています。
「いじめ」問題の取り上げ方	●各学年ともに、特に「公正、公平、社会正義」の内容項目においては意識的に教材を選定し、いじめにつながる問題に正対して考えるように配慮しています。また、それ以外の内容項目においても、生徒の学校生活の中で陥りやすい場面を積極的に取り上げ、常に気をつけなければいけないこととして認識できるようにしています。（「外見で決めないで」「彼と私のありがとう」）
「伝統・文化」の取り上げ方	●長く親しまれ、続いてきた伝統文化とともに、意識的に守り続け価値づけていく伝統文化を取り上げ、文化の担い手としての意識を高める教材を配置しました。（「三度の涙 ～現代の『結』～」 「筑前琵琶修復師 ～ドリアーノ・スリス～」）
現代的な課題の取り上げ方	●【情報モラルの問題】 各学年に、情報モラルの問題を過不足なく扱っています。（「SNSでの誹謗中傷」） ●【生命尊重】 「命」ありようについてしっかり認識できるように扱っています。（「命をつなぐ」） ●【キャリア教育】 キャリア形成について認識し、考えさせる教材を選定しました。（「総菜屋のおばちゃん和我」「人はなぜ仕事をするのか」） ●【SDGs】 持続可能な発展に関わる題材についても留意して取り上げ、グローバルな見方・考え方ができる教材を導入しています。（「問題を解決するために必要なこと」「森に起きていること」）
他教科と実生活との関連	●全ての教科の基盤となる、互いを尊重し合う学級集団形成のための「学級づくり」ページを、各学年冒頭に設置しています。 ●国語、社会、理科、家庭、音楽など、他教科と関連する題材を積極的に取り入れています。 ●特別活動と関連して、学校行事をはじめ、学校以外でのボランティアなどの集団活動に関わる教材を取り入れています。 ●学校生活や家庭生活における日常の場面、近隣や地域の人々との関わり等を多数取り入れ、生徒が現在の生活を見つめたり、これからの生活を考えたりすることができるよう配慮しています。
ユニバーサル・デザイン、特別支援教育との関連	●カラーユニバーサルデザインの観点から、全ページにわたり配色とデザインに十分な配慮を施しています。 ●本文の主体文字にはUDフォントを用い、視認性と読みやすさの向上を図っています。 ●中学校配当漢字と常用外漢字及び固有名詞等についてはその都度ルビを付け、生徒の読みの負担を軽減しています。
文字・印刷・造本等	●環境への配慮から、環境に配慮した紙と植物油インキを用いています。 ●読みやすさの向上のために、紙面の広いA B判を採用するとともに、堅牢性を向上させた無線綴じで製本してあります。

Ⅱ 対照表			
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配 当 時 数
クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう	(10) 法や決まりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	p.4-6	1
A 自分自身と向き合う			
1 Flower bus stop	(1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	p.8-11	1
2 領民を幸福にすることこそ		p.12-15	1
3 気候変動で私たちができること	(2) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。	p.16-19	1
4 加藤セチと佐藤昌介 ～決まっていることはない～	(3) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	p.20-23	1
5 そっと生きる？		p.24-27	1
6 栄冠は君に輝く		p.28-33	1
7 自分のこの目で確かめたい ～吉田松陰～	(4) より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	p.34-39	1
8 あなたさん誰でしたかね ～執念の薬づくり～	(5) 真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	p.40-43	1
9 愛ってなあに		p.44-48	1
B 人とのかかわり			
10 百円のご恩	(6) 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	p.50-53	1
11 五つの誓い		p.54-57	1
12 茶道の心に学ぶ	(7) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	p.58-60	1
13 嵐の後に		p.61-65	1
14 リョウとマキ ～Stand by me～	(8) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	p.66-70	1
15 外見で決めないで		p.71-74	1
16 彼と私のありがとう	(9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に学びね自らを高めていくこと。	p.75-78	1
C 集団や社会とのかかわり			
17 放っておけばいい ～淳の住む町～	(10) 法や決まりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	p.80-83	1
18 SNSでの誹謗中傷		p.84-87	1
19 豊かなれ阿賀の流れよ	(11) 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	p.88-91	1
20 「わたしたち」として ウェルビーイングをつくりあう		p.92-94	1
21 震災を乗り越えて	(12) 社会参画の意義と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	p.95-99	1
22 総菜屋のおばちゃんと私	(13) 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	p.100-105	1
23 人はなぜ仕事をするのか		p.106-109	1
24 迷わず選ぶ	(14) 父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	p.110-113	1
25 新しい家族のカタチ		p.114-117	1
26 VICTORY	(15) 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	p.118-121	1
27 三度の涙 ～現代の「結」～	(16) 郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	p.122-127	1
28 筑前琵琶修復師 ～ドリアーノ・スリス～	(17) 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家および社会の形成者として、その発展に努めること。	p.128-131	1
29 問題を解決するために必要なこと	(18) 世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	p.132-135	1
30 誓い		p.136-140	1
D 自然や崇高なものとのかかわり			
31 命をつなぐ	(19) 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	p.142-145	1
32 森に起きていること	(20) 自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	p.146-149	1
33 不思議な光景	(21) 美しいものや気高いものに感動する心をもちね人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	p.150-155	1
34 くちなしの花と、南十字星が指した道 ～花田ミキ～	(22) 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	p.156-160	1
付録			
わたしたちの郷土	全般	p.161-163	
			計 35